

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171700271		
法人名	有限会社ケアステーションせたな		
事業所名	瀬棚高齢者グループホームあさなぎ		
所在地	久遠郡せたな町瀬棚区本町792番地2		
自己評価作成日	令和4年9月5日	評価結果市町村受理日	令和4年11月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域住民やボランティアの方との交流を大切なものと考えており、コロナ禍以前は、地域の行事には積極的に参加、ボランティアの方には見守りや付添いで一緒に参加していただいております。ホームの行事にはボランティアの方や運営推進会議の委員さんにも参加していただき、お手伝いや貴重なご意見をいただくなど交流の機会を持っておりましたが、現在は、外出や面会の自粛等のためにできておりません。現状下においても、入居者の皆さんが四季を肌で感じていただくため、散歩やドライブ等で季節ごとの外出の機会を創り、楽しんでいただいております。職員は笑顔で優しく接するなど、穏やかな環境を創ることを心がけており、できるだけBPSDが出ないように関わるように努めております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigvovsoCd=0171700271-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和4年10月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「瀬棚高齢者グループホームあさなぎ」は、せたな町瀬棚区のほぼ中心部に位置し、近くには瀬棚総合福祉センター、診療所、温泉、隣には警察駐在所があり、安全な生活が確保された立地である。建物は木造平屋造りで1ユニット9名の利用者が暮らしている。感染症対策をしっかりとしながら、近所の方が散歩の度に窓越しに声をかける習慣は以前と変わりなく続いている。この事業所の優れている点は、行政より車椅子のリენტルの情報提供があり、地域包括支援センターからは、おむつの寄贈を受けるなど、事業所や家族との関係も良好で、それぞれの立場で役割を十分発揮して、利用者の豊かな暮らしを支えている点である。食事面では臨機応変に献立を変更し、ウニ漁の時期は「うに丼」が食卓に上り「今年もこれが食べれたね」の言葉が自然にこぼれる。家族や近所の方からの新鮮な魚や野菜の差し入れも食事に彩りを添えている。せたな町は漁業と酪農、農家などの一次産業が盛んな街で、事業所はその事を理解し、利用者が馴染んで来た食べ物でも季節を感じてもらえる様に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念があるほか、年度ごとに特に取り組むべき年度目標も話し合って決め、共有して日々のケアにつなげております。	管理者と職員は毎月のミーティングで、理念がケアサービスの基本であることを話し合い具現化し、毎年具体的な目標を決めて実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しており、町内の敬老会には記念品を頂いております。コロナで買い物には行っていませんが、散歩の際声をかけていただき交流を持っております。コロナで行事もないが、ホームの前を通りかかった際に窓越しに顔を見せてくれたり、手を振ったりと配慮をしてくれております。	近所の方や家族からの野菜や食物の差し入れは、今まで通りにあり、また、知人が散歩の途中に窓越しに声をかけてくれる習慣も途切れることなく続いている。地域のお祭りには事業所の敷地内で獅子舞が披露され、皆で無病息災を祈願している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	あさなぎの紹介や認知症の相談を受けていることを町の広報誌で周知している。また、認知症サポーター養成講座の出前講座の受け入れなどを行政にも周知しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の利用状況、活動状況、ヒヤリハットや事故報告などを説明しております。消防より、避難訓練で非常口に関する指導を受けております。また、今後も近隣住民の協力が大切であると意見をいただき推進会議にはかる予定です。	今年度は6回の開催を予定しており、感染症対策に配慮し、町施設の広い場所を利用して、家族、町内会長、地域包括支援センターの方々が出席してすでに4回実施し、事業所への要望やヒヤリハット・事故報告、日々の暮らし振りを報告して、透明性のある会議になる様に心がけている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議へ出席していただき、ホーム側からは事業所の状況などを伝え、ご意見を頂いております。また、何かあった時は、その都度連絡を取り合っております。	町の担当職員とは介護保険の更新時に直接出向いており、研修会の情報を交換したり、リサイクルの車いすを譲ってもらっている。地域包括支援センターからはおむつ代の相談やおむつの寄贈を受けたりして、良好な協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止・虐待防止委員会を設置し、身体拘束廃止・虐待防止指針を策定するとともに、内部研修を開催し全職員を対象に指針、マニュアルの周知徹底と身体拘束廃止についての理解と、取り組む姿勢の醸成を図っております。	年2回、事例検討を主にした内部研修を開催して身体拘束をしないケアサービスの実践に取り組んでいる。不適切な言葉遣いなどがあった時は都度注意し合っており、身体拘束廃止の意識を高く持っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止・虐待防止委員会を設置し、身体拘束廃止・虐待防止指針を策定するとともに、内部研修を開催し全職員を対象に指針、マニュアルの周知徹底と虐待防止についての理解と、取り組む姿勢の醸成を図っております。		

瀬棚高齢者グループホームあさなぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	コロナ前成年後見人制度に関する研修会に管理者等が参加し、報告書にまとめ、その内容を職員全員が確認しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時におけるご家族説明マニュアルを活用するなど、不安のないように十分な説明を行い、理解が得られるように努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で意見を伺う機会をを設けております。ご家族が来所した際や電話などでお話をさせて頂いた時は運営に反映させるよう検討させて頂いております。	運営推進会議や訪問時、電話などで意見や要望を聞いているが、今後は運営推進会議の案内状を活用して更に意見を収集し、運営に活かす予定である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングで意見や提案を聴く機会を設けております。また、何かあればその都度お話を聞いて提案を取り入れております。そのほかに年1回代表者として職員との個別面談があり、意見や提案を聴く機会を設けております。	毎月のミーティングや年1回の代表者との面談で意見や要望、アイデアを表出する機会を設けて、全職員で検討して運営に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況や各職員の努力、資格習得への取り組みを把握、評価をし、給与や手当に反映させております。また、介護職員処遇改善加算や特定処遇改善加算の支給においても資格や経験年数に応じたランク表を設け、向上心を持って働けるように努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の資格や経験年数に合わせ、なるべく多くの職員が受講できるようにしておりますが、コロナ禍のため、現在は外部研修等は控えております。内部研修を全員受講するようしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で機会がないためできていません。		

自己評価	外部評価	項目		自己評価		外部評価	
				実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者・計画作成担当者が訪問し、ご本人から話を良く聴いて、不安や困っていることや要望等を受け止め、安心して生活できるように努めております。				
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安を受け止め、事業所を見ていただくとともに、事業所としての対応を事前に話し合うように努めております。必要時は家庭訪問をして話し合いをしております。				
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いやご本人の心身の状況を確認し、必要な支援を見極めるように努めております。				
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であるという考えを職員で共有し、普段から調理や畑仕事で職員に教える場面を多く持つように、セッティングや声がけに配慮しております。また、常に感謝の気持ちを伝えるように心がけております。				
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状況の変化などがあれば随時、ご家族に相談して対応しております。その際は、ご家族の思いを受け止め、共に支えあう関係を築けるよう努めております。				
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブや外出を通して知人や友人に会う機会を作ったり、馴染みの場所に行くように努めております。子供連れの方や犬の散歩をされている方とは窓越しではありますが、交流しています。	感染症対策のため買い物は職員が代行し、整髪は訪問の理容師・美容師にお願いしている。馴染みの場所や思い出のある場所にはドライブを兼ねて行き、車の中から見て気分転換している。初詣はほとんどの利用者が職員と一緒に参拝して、これまでの習慣が途切れない様に支援している。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の言動から関係性や相性、その時々々の状況を把握し、申し送り等で職員が共通理解の下で、対立や孤立がないように支援しております。				

瀬棚高齢者グループホームあさなぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	町内でも、ご家族には、なかなか会う機会がないが、あった時には状況等を聞き取るようにしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いやりや暮らし方の希望等については言葉だけでなく表情や行動からも思いの把握に努めるとともにご家族からも情報を得ながら意向の把握に努めております。困難な場合はご本人ならどのように思うかを考えております。	職員と馴染みの関係が築かれると「最期までここに居させて」「目をつむるまでここに居たい」など自らの心の内を職員に打ち明ける利用者もおり、管理者と職員は利用者の思いを叶えようと努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者さんがしてきたことを会話の中から情報を得て把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日1日、どのように生活しているか、いつもと違う変化に気が付けるようにしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の思いやりやご家族の意向を確認しながら、ミーティングにおいて日々の観察をもとにモニタリングなど、職員で話し合いの上で介護計画を作成しております。	モニタリングを基に、ミーティングで職員の意見聴き、6か月を目途に本人や家族、医師の所見を取り入れて現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の様子やご本人が話されたこと、心身の変化の気づきを個人記録に記し、申し送りノートでも情報共有するとともに、介護計画の見直し時の評価や新たな課題にも活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の気分転換の外出に付き合うことや畑仕事の見守り等を行うとともに、ご本人の状況やご家族の希望に応じて通院、食事内容の検討など必要な支援は柔軟に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	福祉施設やボランティアセンター、警察、消防など地域資源を把握し、日ごろから連携を取っております。現在はコロナ禍のため行事参加ができませんが、ご本人が安心して暮らせるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、ご本人やご家族が希望するかかりつけ医としており、外科や専門医などの受診もかかりつけ医の紹介を得ながら対応しておりますが、状況に応じて直接専門医を受診するなどの対応もしております。また、かかりつけ医による往診も受けております。	町診療所の医師が毎月往診して、健康管理をしている。また、2か月ごとに眼科医師の出張診療が行われている。看護師が受診に同行している。	

瀬瀬高齢者グループホームあさなぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者の体調不良などの気づきや情報を職場内の看護職員に報告、相談できており、必要時には、受診や看護を受けております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際はご家族と連携し、安心して治療ができるようにしております。また、主治医の説明時は同席させていただき、ご本人やご家族、相談員と相談し、早期に退院ができるよう努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方についてご本人やご家族の意向に沿えるよう話し合いをし、ホームの対応の限界を理解していただいたうえで同意をいただいております。また、関係機関との連携にも努めております。	契約時に「重度化した場合の対応に関わる指針(看取り介護の具体的支援内容)」を利用者と家族に十分説明して同意を得ている。今年度は1名の利用者を看取った経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	夜間、緊急時の対応マニュアルを作成し、職員間で共有しております。消防署にお願いし、普通救命講習を全員受講するようしており、3年毎に再受講もできるようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て近隣住民や警察署にも参加していただいていたのですが、コロナ禍のため、消防の方のみ協力してもらっています。	春に消防署の協力を得て、避難訓練を実施している。11月には2回目を実施する予定で現在準備中である。2日分の食料、電池式のポータブルストーブも用意し、冬の災害にも備えている。また、災害BCPの作成にも取り組む予定である。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、ご本人にわかりやすく通じる言葉かけをし、わかりにくいことはジェスチャーを交えての対応を心がけております。ご本人が不快な思いをしないような対応を心がけております。	羞恥心を伴う入浴やトイレ介助は細心の注意をはらい、トイレ誘導する際は、さり気なく声かけをしたり、耳の遠い利用者には筆談でそっと行い、プライドやプライバシーを損ねない様に配慮している。利用者の気持ちの起伏に配慮した対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人に合わせて掃除や家事の手伝い、入浴や体操・行事への参加の声掛けにおいては、自己決定しやすいような問いかけの工夫をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースを大事にしながらも散歩、ドライブなどの外出の提案をしたり、お話を楽しむ時間を持ったりするなど、希望に沿った支援を行うよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	コロナ禍であり、行きつけの所には行けていませんが、家族の方から新しい服を持ってきていただいた時等は新しい服を着てもらったりしています。又、ご本人が選んだ服を着ており、アクセサリーを付けたり、その人なりのおしゃれをしています。		

瀬棚高齢者グループホームあさなぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好みのほか、食事の動作や時間、量を把握して提供しております。ご本人のできることを見極めて食事作りや片付けに参加していただいております。また、月に1回出前の日を設けお誕生日には好きなものを食べてもらっております。その他にも、季節に合わせて旬のウニや土用の日にはウナギを食べていただいております。	年間の基本献立はあるが、知り合いや家族からの野菜や魚などの差し入れを新鮮なうちに食卓に登らせ、ウニ漁の時期には利用者の希望でウニ丼を食すなど、献立は状況や季節に応じて臨機応変に変更している。また、出前を利用して食事をより楽しむものになっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況は個人記録に記し、病気や体調、習慣に応じた支援をしております。また、体重の増減に合わせた食事量の提供をしております。水分摂取が消極的な入居者さんにはゼリーや旬の果物などで水分補給してもらうよう工夫しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や、毎食後は口腔ケアを全員に行ってもらっています。技師を預けてくれる方には洗浄を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の時間帯や習慣を把握し、排泄パターンに合わせたトイレ誘導をし、トイレでの排泄を支援しております。	昼間4名程が自立している。夜は転倒などの安全面に配慮して、ポータブルトイレを使用している利用者が2名いる。排泄用品の使用も排泄量や体型に合った物かを職員で検討して決めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分摂取や食物繊維の多い食事を取り入れるようにするとともに、歩行など運動への働きかけなどもしながら自然排便を促すよう取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者さんのその日の希望を確認したり、体調や気分の良いときに合わせて声がけて、入浴していただいております。	365日浴槽に湯を入れて、週に複数回の入浴を支援している。拒む利用者には無理強いすることなく、時間を置いてタイミングよく声かけをしてスムーズな入浴につなげている。湯に浸かりながら、普段言えないことを介助している職員に打ち明けるなど、心身ともにリラックス出来る時間となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない時には無理に眠りを強要せず、職員が話相手になったり、温かい飲み物を飲んでいただいたり、居室の温度や湿度にも注意するなどの支援をしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方箋を綴り、副作用などを把握できるようにしております。服薬支援については薬の受け渡しなどにおいて、声出し確認を励行し、服薬ミスゼロを目指しております。また、服薬後等においては症状の変化の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事や畑仕事、裁縫、ドライブ、散歩、読書、編み物など得意なことをやっていただき、役割や楽しみにつなげたり、気分転換をしていただいております。		

瀬棚高齢者グループホームあさなぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候やご本人の気分や希望に合わせて、ドライブ、散歩、外気浴を楽しんでいただいております。花見や紅葉狩りなど出かける機会を設けておりますが、現在はコロナ禍の影響で人が多くいるところへの外出は控えております。	本人の希望でほぼ毎日、事業所周辺を散歩したり、玄関先で皆一緒に日光浴をするなど、気分転換やストレス解消をしている。花見やもみじ狩りのドライブも感染症の状況を加味しながら行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からお金を預かり、事業所が管理しております。希望があれば、買い物で使えるように支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時にはいつでもご家族などに電話ができるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールのソファの配置を工夫し、一人ひとりが居心地の良いスペースを確保できるように支援しております。菖蒲飾りやクリスマスツリー、七夕飾りなどで季節を感じていただいたり、月ごとに季節が感じられるタペストリーもホールに飾ったり、季節感のある花を飾ったりしております。ご飯の炊ける匂いや茶わんを洗う音など生活感を取り入れる工夫しております。	居間はゆっくり寛げる様にソファの配置を工夫したり、パーティションを活用して感染症対策にも配慮している。陽もほど良く入り、湿度や温度も高齢者に合わせて適切に管理している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	コロナ感染予防のため、食卓テーブルの配置は一方へとなっていますが、仲の良い入居者さん同士でくつろげるスペースを作っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には以前から使っているものを持ち込んでいただいたり、ご家族の写真や人形などを飾ったり、ご本人の意向やご家族の思いも聞きながら居心地良く過ごせる居室になるよう配慮しております。	各居室には押し入れが備え付けられていて、季節の着替えや寝具類などほとんどの持ち物を収納し、スッキリと片付いた部屋にお気に入りの家具やベッド・テレビ・作業台を持ち込み、また、手作りの折り鶴を飾ったり、思い出の品を飾ってゆったりと寛げる部屋づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、廊下などには手すり、玄関には座って靴が履けるようにベンチを置くなど、自立した生活が送れるよう工夫しております。また、必要に応じて部屋などわかりやすいように表示しております。		

目標達成計画

事業所名 瀬棚高齢者グループホームあさなぎ

作成日：令和 4年 11月 21日

市町村受理日：令和 4年 11月 21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		(特に該当なし)			
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。